



絵本

ウエズレーの国  
ポール・フライシュマン 作  
ケビン・ホークス 絵  
千葉茂樹 訳  
あすなろ書房 1999年

仲間はずれにされていた少年ウエズレーが夏休みの自由研究に、自分だけの作物を育て、自分だけの服を作り、「遊び」を考えだし、「文字」までも発明して、「自分だけの文明」をつくりだす壮大な物語。



科学絵本

でんとうがつくまで  
加古里子 ぶん・え  
福音館書店 2018年

電灯が明るく光るのは、電気のおかげ。電気は、山に降った雨をダムで堰き止め、たまった水の力で発電所の水車を回し、水車についている磁石の力で作られます。ほかにも、石油や石炭から電気が作られる様子などを紹介します。



読み物

古墳のなぞがわかる本  
東京国立博物館  
監修 河野正訓  
岩崎書店 2019年

北海道と沖縄を除く日本の各地に広い範囲にわたって存在する古墳。古墳はなぜつくられたのか、中はどのようなになっているのか、どうやってつくるのかなどを解説し、全国の古墳を写真で紹介する。



## 行田市立図書館

(行田市教育文化センター「みらい」・図書館棟)

〒361-0032 行田市佐間 3-24-7

TEL 048-556-4227

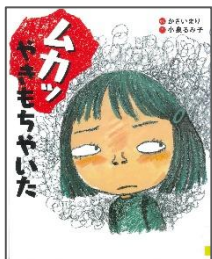
FAX 048-555-3770

## 行田市立図書館の おすすめ本

小学3・4年生向けブックリスト

令和8年1月発行

子どもたちにおすすめする児童書を  
図書館職員が選びました。  
ここに載っている本は、  
すべて図書館にあります。  
何を読んだらいいのか迷ったときは  
ぜひ参考にしてください。

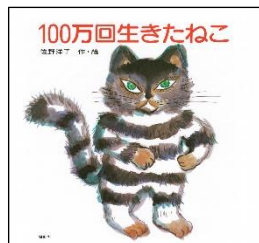


絵本

### ムカッ やきもちやいた

さく かさいまり  
え 小泉るみ子  
くもん出版 2018 年

やきもちって、心の中で勝手に生まれる曲者-。今日、転校生がきた。わたしの仲良しのふうこちゃんと、楽しそうに話してる。なんだか、ムカッ。この気持ち、なんだろう…。友だちとの関わりを考える絵本。



絵本

### 100万回生きたねこ

佐野洋子 作・絵  
講談社 1977 年

100万回生まれかわっては、飼い主のもとで死んでゆくねこ。飼い主たちはねこの死をひどく悲しんだが、ねこ自身は死ぬのなんか平気だった。ある時、ねこは誰のねこでもないのらねことなり、一匹の白いねこに恋をする…。

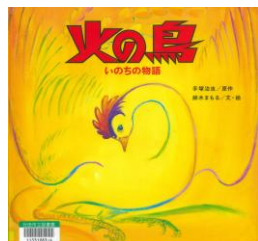


読み物

### びりっかすの神さま

岡田淳 作・絵  
偕成社 1988 年

始は転校した学校で、教室を飛び回る小さな男を見た。何かでびりになった子だけがその男を見ることができる。やがて、びりの子どうしてレバシーで話ができるようになった。始はびりの子たちと助け合い、友情の輪を広げる。

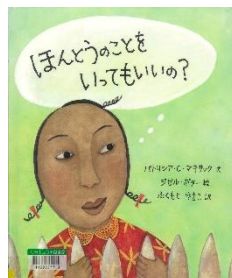


絵本

### 火の鳥 いのちの物語

手塚治虫／原作  
鈴木まもる／文・絵  
金の星社 2024 年

地球にはたくさんのいのちが生きています。火の鳥が、いのちのふしぎ、生きることの大切さ、地球の大切さを伝えます。手塚治虫の最高傑作「火の鳥」初の絵本。



絵本

### ほんとうのことをいってもいいの？

パトリシア・C. マキシック 文  
ジゼル・ポター 絵  
ふくもと ゆきこ 訳  
BL 出版 2002 年

初めてお母さんにうそをついて後悔したりビーは、その日から本当の事だけ言おうと誓いますが、今度は友だちを傷つけてしまい…。正直に本当のことをいうのはいいこと？ わるいこと？ 素直な少女の悩みと成長を描いた絵本。

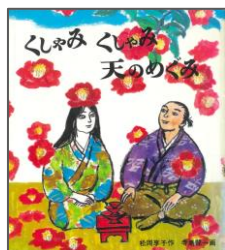


科学読み物

### 世界の納豆をめぐる探検

高野秀行 文・写真  
スケラッコ 絵  
福音館書店 2024 年

納豆は日本だけの食べ物？ 実は納豆の仲間、アジア各地やアフリカにもあるのです。納豆をせんべいみたいにしたり、スープにしたり、食べ方もさまざまで…。世界中で調べた美味しそうな納豆を紹介します。



昔話

### くしゃみくしゃみ 天のめぐみ

松岡享子 作  
寺島龍一 画  
福音館書店 2002 年

くしゃみ、しゃっくり、いびき、おなら、あくびなど、どうしても出てしまうものを題材にしたお話集。ユーモアにあふれた大らかなお話が全5編。



絵本

### 雨をよぶ龍 4年にいちどの雨ごい行事

秋山とも子 文/絵  
童心社 2009 年

埼玉県鶴ヶ島市脚折で4年に1度行われる雨ごい行事。長さ36メートル、重さ3000キロもある龍神を作り始めるところから、町をねり歩き、雷電池へと担いでいくまで、伝統行事とそれを継承する人たちをていねいに描く。



読み物

### ぼくはくまですよ

フランク・タシュリン／文・絵  
小宮 由／訳  
大日本図書 2018 年

くまが冬眠から目を覚ますと、そこは工場の中。工場の主任が、「おい、そこのおまえ、仕事はどうした!」と怒鳴ります。「仕事ってなんですか? ぼくはくまですよ」と、くまは答えますが…。笑って、少しドキリとするお話。